

令和4年度(2022年度)事業計画書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

この法人は、視覚障がい者の社会参加活動等に対する支援のための事業並びに視覚障がい者支援団体の活動支援等の事業を通じて、兵庫県内の視覚障がい者の福祉向上に寄与することを目的とし、次の事業を行う。

- 1.視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業
- 2.視覚障がい者を有する大学生等に対する奨学金の給付事業
- 3.視覚障がい者支援団体の活動に対する助成事業
- 4.視覚障がい者支援団体に対する施設等の貸与事業
- 5.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

I はじめに

当財団は、兵庫県における視覚障がい者の「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」ため、中山記念会館を拠点として神戸ライトセンター運営協議会11団体とともに「自立と社会参加をトータルサポートする事業」を実施しています。また長年の悲願でもある、視覚障がい者センター機能を持った上にトータルサポートも実施できる新中山記念会館が9月に完成しスタートいたしました。

II 公益目的事業部門

公益事業1 中山記念会館の施設貸与事業

現在、支援入居7団体、共同事務所利用支援4団体に無償貸与し、相談・歩行指導・パソコン・点字・朗読・伴走や外出支援、地域活動センター等、視覚障がい者のトータルサポートを実施している施設です。

多くの視覚障がい者及び団体並びに支援団体並びに盲ろう者支援団体が活動し集える場所として、新中山記念会館が完成し、その新拠点となりました。

(公益事業1 総予算 176,654千円)

公益事業2 視覚障がい者支援団体及び視覚障がい者個人に対する助成等の事業

視覚障がい者支援を目的として活動する団体に対する助成金供与及び大学生、大学院生等に進学する視覚に障がいがある学生に対する奨学金を支給する。

(公益事業2 総予算 13,264千円)

1. 助成金供与事業

視覚障がい者団体及び支援団体に対して助成金を支給する事業。令和4年度に助成を予定している支援団体は23団体で事業数は48事業、助成金総額 7,792千円

(1) 視覚障がい者の社会参加活動の支援

ア 講演会、各種競技会に対する助成 助成予定額 819千円

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会点字競技会、その他1団体 6事業

イ 社会参加支援活動を行う団体に対する助成 助成予定額 4,960千円

社会福祉法人兵庫盲導犬協会 その他22団体 24事業

(2)視覚障がい者の視察、研修会への参加に対する支援 助成予定額 1,684千円

一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会各地区活動促進費 その他1団体 15事業

(3)視覚障がい者のためのスポーツ活動に対する支援 助成予定額 329千円

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会スポーツ部活動促進費、その他1団体 3事業

2. 奨学金の無償給付事業

事業年度の給付予定額は3名 1,440千円。(在校生2名 新入生予定1名)

この事業は、視覚障がい者で向学心に燃える大学生等に、月々3万円から6万円の奨学金を無償給付し、卒業まで学業に専念できる環境を整える一助としています。

なお、3月6日現在、新入学生からの申請はございません。

公益事業3 視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業

障害のある人が障害のない人と同じように毎日を通し、共にいきいきと活動できる社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念の定着を目指し、視覚障がい者の社会参加活動に対する支援を行う。

(公益事業3 総予算 16,907千円)

1. 兵庫県視覚障がい者音楽祭事業

・「中山・KLCコンサートVol.11」

開催場所:神戸新聞松方ホール、開催日:令和5年3月24日(金) 予算 2,500千円

視覚に障がいがあるプロ、セミプロ、無名の演奏・声楽家等に、大勢の観客の前で演奏する機会を与え飛躍のきっかけになればと思い、毎年「兵庫県視覚障がい者音楽祭」を開催しています。また、観客には視覚障がい者や家族及び支援者を招き、音楽で頑張っている視覚障がい者を応援しています。(新型コロナウイルス感染症の状況で変更もあります。)

2. 盲導犬貸与事業

・「盲導犬2頭貸与」 予算 4,400千円

兵庫県内の視覚障がい者に盲導犬「中山号」を貸与するため、兵庫盲導犬協会及び日本ライトハウスに各2,200千円を助成して年間2頭を育成します。

令和3年度までの盲導犬通算貸与は43頭です。

3. パソコン講座事業

・「中山視覚障がい者パソコン講習会」 予算 3,562千円

中途失明者の情報入手手段として音声パソコン習得は欠かすことが出来ません。

初級から応用、iPadまで多くのコースを設けた講習会を実施しています。

コース・講座名	定員	講習日数	開催回数
(1) 初級コース	5名	6日間	2回
(2) インターネットコース	5名	2日間	1回
(3) iPadコース	5名	3日間	1回
(4) オフィスコース	5名	2日間	2回
(5) iPad体験コース	5名	2日間	2回
(6) 音声パソコン体験コース	5名	2日間	2回
(7) パソコンサポート養成講座	5名	1日間	2回
(8) ICT講座	5名	1日間	1回

4. 音楽公演事業

・「中山ワンダフルフェスタVol.23 コンサート」

新型コロナウイルスの感染の懸念から中止といたします。

5. 同行援護従業者養成研修事業

・「同行援護従事者養成講習会」 予算 2,178千円

研修・講座名	研修日数	開催回数	募集数
(1) 一般課程	4日間	3回	60名
(2) 応用課程	3日間	1回	20名
(3) 介助入門講習	1日	2回	
(4) 手引き講座(ロービジョンの方対象)	1日	1回	
(5) 歩行基礎講座(視覚障がいの方対象)	1日	1回	

同行援護従業者講習会は各地で開催していますが、有料講習会では人数が集まらない上にガイドヘルパーの質の低下が問題になっています。このような状況を打開するために、当財団で研修会を開催して同行援護従業者資格取得者の増加を図ります。

また、今年度から4日間の講習を最初から受講するには不安を持っている方を対象に、

- ①短い期間で駅や町での安全な声かけできることを目指す介助入門講座を2回。
- ②ガイドを受ける視覚障がい者が、白杖の基本や介助の受け方を知らないために、視覚障がい者を対象にした歩行の基礎講座を各1回。

を計画しております。

6. バリアフリー映画上映事業

・「中山UD映画祭」開催 予算 1,200千円

視覚障がい者向けのUD映画は、兵庫県内で当財団主催を含め年4回程度開催されていますが、いずれも満席で皆様が楽しみにしている行事です。

今期は、神戸市内及び淡路地区開催で、計2回を予定しています。新型コロナウイルス感染症の状況で変更もあります。

Ⅲ 収益事業

新中山記念会館の建設に伴い、固定資産税、減価償却費、光熱水料費等を賄い、当財団の運営を安定させるため、中山記念会館5階にテナント企業としてトラスコ中山(株)に入居をしてもらっています。

収入としては、家賃収入29,304千円/年と駐車場収入1,980/年(10台契約)等で、年間合計32,724千円となります。支出は、減価償却費24,817千円、租税公課26,769千円、光熱水料費2,701千円、業務委託費1,830千円等で、合計56,796千円を計画しております。

当期経常増減額は、-24,070千円を予定しています。

IV 管理部門

1. 活動の基本方針

新中山記念会館と当財団及び会館入居団体の総称である「神戸ライトセンター」の活動を県内に広く広報し、中山記念会館を不特定多数の視覚障がい者と盲ろう者が利用しやすい施設とする。

2. 広報活動

当財団の兵庫県での知名度は格段に上がり、近畿地域にも広がってきている。

引続き、団体の行事への参加等を通じて視覚障がい者と盲ろう者の接点を増やしていく。

また、ホームページからの発信も積極的に行っていく。

3. 公益法人事業の運営充実

“奨学事業研究会”で、勉強会等を実施して財団運営及びガバナンスの向上を目指す。

4. 障がい者団体協議会の開催

県内の有力な視覚障がい者団体及び支援団体5社との連絡協議会を実施して新会館についての意見交換会を実施する。それを踏まえ、さらに多くの団体の意見を求める会館の在り方を模索する。